

# 歯科開設から1年になりました

すこやか診療所歯科 歯科医師 大竹祥一郎



2025年1月に開設してから1年が経ちました。開設当初は、ちゃんと患者さまが来てくれるかと心配でしたが、今では予約が取れない日もあるほどで、スタッフ一同感謝しております。

患者さまからは、「みどり病院とつながっているのが安心」「スタッフの方たちがとても丁寧に親切」「急でも快く受けてくれました」という声が多く届いており、信頼して来院してくださっていることに、とてもうれしく思っております。

患者さまの期待に応えることができるように引き続き研鑽していきます。

また新たな取り組みとして、口腔機能低下症の診断ができるように準備を進めています。

口腔機能低下症の診断とは、専用の機械を使用して、口唇・舌の筋力低下、咬合力や飲み込む機能低下など7項目を調べ、具体的な数字をもとに診断します。

患者さまの9割が後期高齢者です。歳をとってもおいしく食事ができるようにサポートしていきます。



## お願い

現在診療の枠を増やすために、歯科医師を募集しております。

お知り合いの方で

ご紹介いただける方がおりましたら、

すこやか診療所歯科まで

ご連絡ください。

連絡先：058-201-3325

# Doctor 医局ルー



みどり病院 総合診療医 西尾 大樹

国が定める医師の専門領域として、内科や外科、産婦人科など18分野が認定されています。2018年4月、総合診療が19番目の専門領域と認定され、専門研修が開始されました。昨年テレビで「19番目のカルテ」というドラマがありま

した。そこで総合診療という言葉を知った人もいます。総合診療医は、患者さんの全ての問題を解決する特別な存在ではありません（そもそも一人の医師が全てを解決できるのであれば、専門領域が認定される必要性はないです）。総合診療医は、患者さんの直面している症状や問題に対して、解決できる問題は解決し、時には適切な専門科への紹介を行うコーディネーターとして、患者さんに一番頼られる存在となります。

2025年1月に、みどり病院に総合診療科を開設しました。以前より病院で働く内科医の医療活動は総合的に患者さんを診ており、大きく活動内容が変化するわけではありません。みどり病院は総合診療医を育てる研修プログラムを取得しました。みどり病院は総合診療医を志す医師の受け皿となり、岐阜県民連の医療活動の充実とともに地域住民の皆さんの安心をも医療を展開していきます。

## 「みどり病院総合診療科」

した。以前より病院で働く内科医の医療活動は総合的に患者さんを診ており、大きく活動内容が変化するわけではありません。

みどり病院は総合診療医を育てる研修プログラムを取得しました。みどり病院は総合診療医を志す医師の受け皿となり、岐阜県民連の医療活動の充実とともに地域住民の皆さんの安心をも医療を展開していきます。

# 介護制度の改善を目指して!

岐阜勤労者医療協会 介護福祉部長 湯本純一

2025年12月21日(日)岐阜県民連介護福祉委員会が企画した介護ウェブの学習会を行いました。介護保険制度について、大阪社会保険推進協議会、介護保険対策委員長の目下部雅喜さんをお招きしました。度重なる介護報酬の引き下げにより介護事業所の経営圧迫や職員の処遇改善・雇用が困難なこと、利用者負担の増加など介護保険制度の矛盾点をわかりやすくお話ししていただきました。また、4つのサービス事業所より困りごとについて報告いただき、グループワークにて課題の共有を行いました。



0筆を超え、国会に提出させていただきます。ご協力ありがとうございました。引き続き、介護制度の改善をもとめるため、声を上げ続けたいと思います。



# Nurse

華陽診療所 看護課長 渡邊 博美

## 「まず診る(観る)・援助する・何とかする」を合言葉に

華陽診療所は1969年9月に「華陽民主診療所」として開所。これが、岐阜県民連の発祥です。3代目となる3階建ての建物には外来診療・リハビリ特化型のデイサービス・居宅支援(ケアマネジャー)事業所があります。この地域の高齢化率は40%未済ですが、高齢独居や、老老世帯は多く、地域の包括支援センターとのつながりも強めています。ぎりぎりまで頑張つて暮らしておられる方が見受けられます。医療と介護のニーズはまだまだ埋もれていると感じます。

切にしています。予診では、「お変わりないですか?」とお聞きする事があります。お話しする中で、いつもと違うわずかな変化に気づくこともあります。「看護は観察から始まる」とナイチンゲールの時代から言われている事です。顔色や歩き方など、いつもと違うという直感は医療・介護・福祉従事者の観察力の優れているところでは。昨年暮れからある事例をきっかけに、3つの事業所(華陽診療所・デイサービスきねん・介護保険相談センターかよう)合同で話し合う機会を設けています。メールや紙面の連携より、顔の見える関係はとて大切だと感じます。困難事例も「まず診る(観る)・援助する・何とかする」を合言葉に多職種で一緒に頑張ろうと声を掛け合っています。

